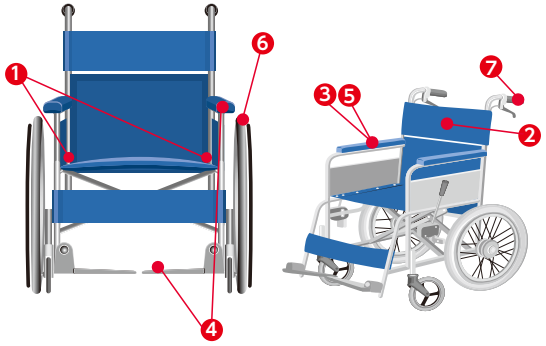
車いす・車いす関連用品

各部名称

サイズの選び方

1. 座った時、お尻の左右に各2cmのゆとりがあるもの（介助の人の手が入るように）
2. バックレストは肩甲骨の下ぐらい
3. アームサポートに腕をおくと肘の角度が90度に曲げられる
4. アームサポート・フットサポートがはずれると移乗がしやすい
5. アームサポートに膝がくっつきすぎない
6. 駆動輪が大きい方が段や溝を越えやすい
7. ハンドルグリップは介助者のへその高さくらいが適当



タイプ

自走式

自分自身で操作することが出来るタイプ。介助者が後ろから押すこともでき、後輪が大きく安定感があります。

介助式

介助者が後ろから操作するタイプ。自走用の車いすより軽くコンパクト。後輪が小さく小回りが利きます。

介助者の車いすでのお世話

●前向きで段差を上がる

①体を密着させティッピングレバーを踏みながらハンドグリップを後方に下げ、キャスターを浮かせたまま直進。

②キャスターを上げ、浮かせたキャスターを段に乗せ、後輪を段にくっつける。

③ハンドグリップを持ち上げながら前に押し出し、後輪を段差に沿ってすりあげる。

●後ろ向きで段差を降りる

①体を密着させキャスターを上げ、ハンドグリップを持ち上げるようにしながら後輪を段に沿って降ろす。

②キャスターを上げて後ろに引く。

③フットとつま先が段差に当たらないようにキャスターを降ろす。

●急な坂を下がる

後方に注意しながら後ろ向きで一歩一歩ゆっくり下りる。

ポイント

車いす使用時の注意点

①おでかけ前にタイヤの空気が十分に入っているか確認してください。（自転車用空気入れが使えます。）

②乗り降りする時は駐車ブレーキ（タックルブレーキ）をしっかりかけて、転倒を防ぎましょう。

③急な坂道や段差は後ろ向き（バック）で進むと安全に降りることができます。

④歩行器として使用することはできません。

車いすの基本的な使い方

広げる

①両側のブレーキをかける。
②車いすを少し外側に開くようにする。
③シートの両側を両手で押し広げる。この時、ゆびを挟まないように注意してください。

たたむ

①両側のブレーキをかける。
②フットプレートを持ち上げる。
③シートの中央部を持ち上げる。

押す

両手でハンドグリップを握り、介護される人に注意しながらゆっくり押す。

ブレーキをかける

①車いすの横に立ち、片手でハンドグリップを握り、他方の手でブレーキをかける。
②反対側も同様にブレーキをかける。